

超速硬セメント マイルドジェットセメント

マイルドジェットセメントの特長

1. 硬化時間は1時間後
硬化開始を練り混せ後30分以上に調整しており、余裕を持った施工が可能です。
2. 優れた強度発現性
硬化を始めると急速に強度が発現し、3~4時間で実用強度を発現すると共に長期にわたって安定した強度増進が見込めます。
3. 優れた作業性と表面仕上がり
コテ離れが良く作業性に富むと共に、普通セメント同様の落ち着いた灰白色に仕上がります。
4. ポンプ打設が可能
ジェットモービル車を使用したモルタル・コンクリートのポンプ打設が可能です。
硬化開始までこわばりがなく、一定のコンシスティンシーを維持します。

※ポンプ打設時の注意

- 普通コンクリートに比べ、いくらか粘性の高いコンクリートとなりますので、圧送能力に余裕のあるポンプを使用願います。
- 硬化時間内に圧送を終了するように、凝結遅延剤（ジェットセッター）の量をメーカーおよびプラントオペレーターと事前に打合わせを行い決定してください。
- 打設終了後は速やかにホッパー、ホース内の残コンを排出し、清掃を行ってください。

マイルドジェットセメントの種類

- マイルドジェットセメント
Wタイプ：使用温度条件 5~20°C
Sタイプ：使用温度条件 20~35°C
- マイルドジェットセメントスーパー
ジェットモービル車用専用セメント

マイルドジェットセメントの用途

- 緊急モルタル工事
側溝、マンホール、ブロック、土間タイル等左官仕上げ用
- コンクリート欠損部補修
擁壁、橋梁等の部分補修
- 機械基礎、床版補修、補強
工場内の補修工事、床版増厚補強工事、床版打替工事



※荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。



配合例

※表記は配合例です。
事前に試し練りを行い、性状を確認してください。

モルタル配合：練上り約40リットル (1:2モルタル)

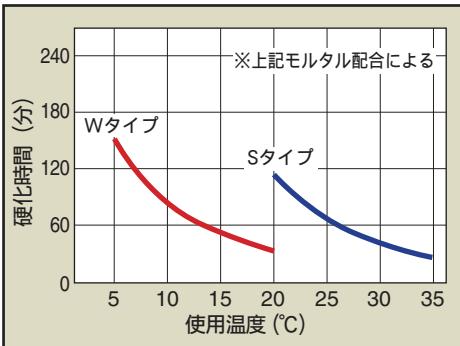
水セメント比 W/C (%)	単位量 (kg/40ℓ)		
	セメント	細骨材	水
45	25 (1袋)	50	12

コンクリート配合：1m³あたり

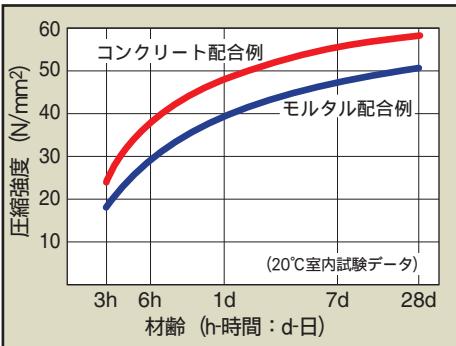
粗骨材の 最大寸法 Gmax (mm)	水セメント比 W/C (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m³)				
			セメント	水	細骨材	粗骨材	混和剤 減水剤
25	40	38.5	445	178	653	1091	11

減水剤：単位セメント量×2.5%

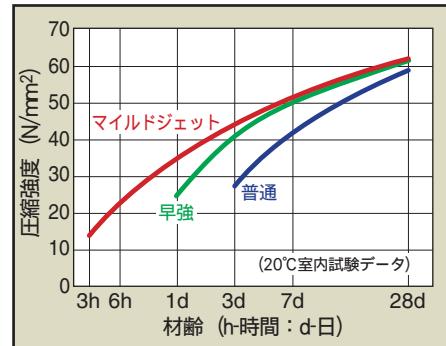
タイプ別 使用温度と硬化時間の関係



材齢と圧縮強度の関係例 (JIS R 5201)



各種セメントの圧縮強度比較例 (JIS R 5201)



施工手順

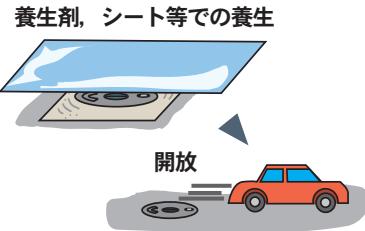
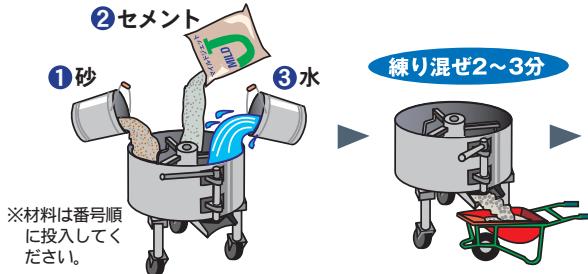
使用材料

セメント：マイルドジェットセメント
水：清浄なもの
細骨材：粗粒率2.5～3.2程度の良質のもの
粗骨材：粗粒率6.5～7.5程度の良質のもの
減水剤：マイティー150（花王株式会社）
凝結遅延剤：ジェットセッター
被膜養生剤：スミセエスシー
プライマー：ライオンボンドA
※スミセエスシー、ライオンボンドAは2～3倍希釈でご使用ください。

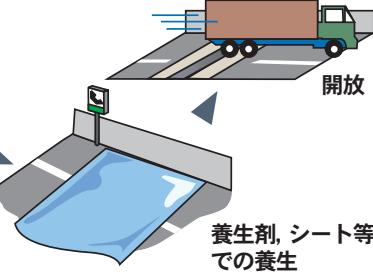
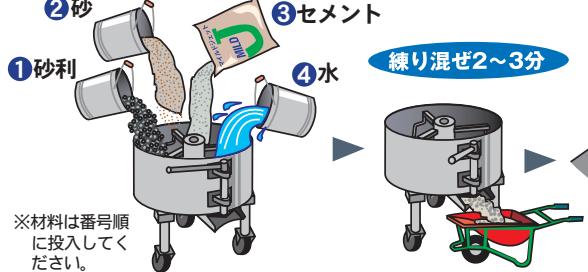
打込み

- 旧コンクリートの下地処理は十分に行ってください。打ち込んだコンクリートの水分が型枠・旧コンクリートなどに吸われることがないように打ち水、もしくはプライマー処理・プラスト処理等を行ってください。
- パイプレーターで十分に締め固めてください。
- 多層打ちを避けて、一層打ちにし、打ち継ぎ目を作らないようにしてください。
- 硬化しかかったモルタル・コンクリートに、水を加え練り返して使用しないでください。

練り混ぜ（モルタル）



練り混ぜ（コンクリート）



暑中対策

- 材料温度が高いと練り上がり温度が上がり、急激な硬化の原因となりますので以下の処置を行ってください。
- 材料は直射にあたらないように保管してください。
 - 外気温が30°Cを超える場合は、冷水等を使用し練り上がり温度が35°Cを超えないようにしてください。
 - 打設後の養生は直射、風等による乾燥がおからないよう施工後すぐにシート養生等を行ってください。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクリア堂島東館15F)
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目(札幌HSビル10F)
東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル(SS30)3F)
北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-6(四国通商ビル6F)
広島支店 〒732-0827 広島市南区稻荷町4-1(住友生命広島ビル7F)
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙と博多ビル8F)

電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

準備

- モルタル・コンクリート用強制練りミキサ、または傾胴式ミキサ等。
- 計量容器、ハカリ、コンクリート受皿
- 内部振動式パイプレーター
- スコップ、木ゴテ、金ゴテ
- 養生剤・養生マット・養生シート等

※硬化が早いため道具を多めに用意してください。

計量

- 各使用材料はあらかじめ1バッチ分ずつに計量しておいてください。
- 減水剤・凝結遅延剤は、あらかじめ混練水によく溶かしておいてください。

養生

環境条件の違いによる養生方法の組合せ例

環境条件	10°C以上	5°C～10°C	5°C以下
皮膜養生	皮膜養生	皮膜養生	皮膜養生
保温養生	↓	保温養生	保温養生
シート養生	↓	シート養生	シート養生
加温養生	↓	加温養生	加温養生
後養生	↓	後養生	後養生
	供用	下	

保温養生：保温マット等による養生

シート養生：不透水性シートによる養生

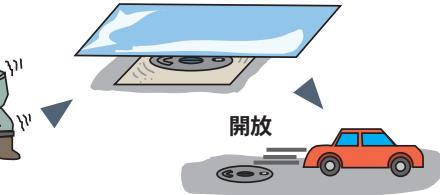
加温養生：ジェットヒーター・電気毛布等による養生

●養生は原則、施工後3時間以上行ってください。

●養生中のモルタル・コンクリートには、散水等を行わないでください。

●加温養生を行う際はモルタル・コンクリートに直接熱源や風を当てるひび割れの原因となりますので、必ずシート養生を行ってから実施してください。

養生剤、シート等での養生



寒中対策

- 冰雪のついている材料は、そのまま使用しないでください。
- 打ち継ぎ目のコンクリートが凍結している場合は、適切な方法でこれを溶かし、打ち継いでください。
- 材料を加温する場合は、水または骨材を加温するのが効果的です。
- 材料を加温した場合、モルタル・コンクリートの性状が異なる場合がありますので注意ください。
- 型枠の取り外し時は、打設箇所の温度を急激に低下させないようにしてください。

物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。
使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

使用上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。直接、皮膚に触れたり、目に入らないようにしてください。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。
- セメントの容器(袋)は完全防水仕様ではありませんので、保管は屋内で行ってください。屋外に仮置きする場合は、パレット等でかさ上げし防水シートで覆ってください。開封したセメントは、なるべく早く使用してください。
- 他のセメントと混ぜないでください。

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は